

六甲山のトイレ事情は深刻です…

山のトイレの約束事

六甲山系には年間 600 万人を越える登山者が訪れます。人が大勢集まれば、問題となるのがトイレ事情です。しかし山には水も電気も排水設備がありません。自然界の処理能力には限界があります。このパンフレットは、これから山に入る皆さんに、最低限守っていただきたい「山のトイレの約束事」を、シーンごとにまとめたものです。これを参考に、自然界や他人に迷惑をかけない、山を愛する者として行動するようにしてください。

自然は壊れやすいものです、多くの人を訪れる六甲山、一人ひとりのマナーがいま問われています。

山のトイレマナーの向上に、登山者の皆様のご協力をお願いいたします。

シーン
III

山頂や稜線

電気も上下水道も無い山岳地に設置された「山岳トイレ」は、街のトイレと違い、特殊な方法で用便を処理しています。そのため、使い方には一定のルールがあります。それが「山岳トイレ使用の4つのルール」です。

山のトイレは頻繁に清掃に入ることができませんので、このルールに従ってきれいに使いましょう！

「山岳トイレ使用の4つのルール」

- ① 便器内に詰まるモノを投入しない。
- ② 使い方をよく確かめてから使用する。
- ③ 自分が汚したら、後の人のためにきれいにしておく。
- ④ 備え付けのトイレトーパーは品切れすることもあります。ティシュペーパーが流せないトイレもあります。使用したティッシュは自分で持ち帰りましょう。

シーン
IV

止むを得ず 山中でする場合

水場の近くは避ける。携帯トイレを持参し使用後は使用済みの紙と一緒に必ず持ち帰る。草むらや茂みの場所では、蚊やマダニに注意する。

シーン
II

途中にトイレがある場合は立ち寄る

山頂トイレは利用が集中して混み合う場合があります。途中にトイレがあったら早目に済ませておきましょう！

シーン
I

山に入る前にトイレに入る

コースによってはトイレがほとんどない区間もあります。事前にトイレの位置を確認しておきましょう。利用可能な個人所有・企業所有のトイレはガイドブックに記載があっても、一声かけてから利用させてもらいましょう！